

# べんりな「かずのせん」をつくろう！ 視点5

1. 単元名 10よりおおきいかず（1年生 9月）

## 2. 改善の動機・意図

本単元で初めて出会う数直線（かずのせん）。活動する中で必要感に迫られ子ども達自身がつくり出していくことで、身近で便利なものだと実感させたいと考えた。そのために、始めは数字も目盛りも書いてないただの直線を提示していく。ペアで「じゃんけんでぴよん」どこまで進んだかゲームをし、どちらが、誰がたくさん進んだか全体で確かめ話し合う。その中から「どこ」「そこ」「〇つめ」等の曖昧な言葉ではわかりにくい、よりわかりやすい方法があったらいいなという必要感を持たせ、目盛りや数字をつけたらいいのではないかと導いていきたいと考えた。

## 3. 授業の構想

### <じゃんけんでぴよんをしよう どこまですすめるかな>

直線だけ書いた紙とおはじきを提示。→ スタートの位置におはじきを置き、じゃんけんに勝ったら右に進める。

全体でやり方を確認。勝った二人にどこまで進むか尋ねる。ちょっととたくさんとばらばら。

T1 好きな所におはじき置いていい？

C1 だめ！ルールを守る。いっぱいジャンプしたらすぐにゴールしちゃう。楽しくない。

T2 今みたいに一つ分の長さ違うのはいい？だめ？

C2 だめ

T3 じゃあ一つ分の長さを？

C3 決める

T4 違うの反対は？

C4 同じ

T5 2回目じゃんけんしてまた勝った時は？

C5 さっきと同じ、ぴったり同じ、ずっと同じ、繰り返す



めもりが入った線を提示→ペアでじゃんけんでぴよんをする。数回繰り返してストップ。

T6 ペアでどちらが遠くまで進んだかわかるかな？ どうして勝ったとか負けたとかわかるの？

C6 こうしたら分かります。（黒板の数の線の目盛りを指で上下指す。）

C7 バディみたいになったら多いかわかる。

【進化するかずのせん】

C8 この線（目盛り）で1, 2, 3, 4, 5と数えました。

T7 このクラスの中で誰が一番遠くまでいったかな？

C9 (1, 2, 3, …と数え始める) 7! 7! 6!

T8 みんな何したの？

C10 数えた

T9 みんなで（目盛りが入った）すてきな線つくったけどもっとわかりやすい線にできないかな？数えなくてもできないかな？

C11 ここに（目盛りの線）1, 2, 3…と書けばいい。

T10 数字書くとどうしていいの？

C12 数えなくてもわかるからです。見ればわかる。

